

松木 慎吾

モバイルシステム部 部長



モバイルシステム部に所属している松木慎吾は、2017年に契約社員として株式会社デルタ総研に入社した。その後正社員に登用され、2024年5月には部長職へと昇格。順調にキャリアアップしてきた彼にとって、転機になった案件とはどのようなものだったのだろうか。経験談や今後の展望などを聞き、働きぶりを探っていく。

技術職への手厚いサポートが魅力

前職は同業他社で働いていた。しかしあるとき、デルタ総研が技術職へのサポートに力を入れていると知り、転職を考えるように。会社として社員全体のスキルアップに積極的に取り組んでおり、資格取得や研修の参加へのサポート体制が整っている点に魅力を感じ、入社を決めた。以前所属し

ていた会社ではそのような仕組みがなかったため、とても新鮮に感じたという。

入社後には、充実したサポート体制を肌で感じるようになった。中でも強く惹かれたのは、評価制度である。1年間の目標を定めて、結果を数値化する。その数値は評価となり、給料に反映される仕組みだ。わかりやすく、モチベーションアップにもつながる上、資格を取得した際のお祝い金も他社に比べて高額で、チャレンジする動機づけにもなっている。

組織がコンパクトにまとまっており、風通しがいい点もデルタ総研の特長だ。入社したばかりの契約社員であっても、マネジメント層に直接相談できる環境が整っており、仕事のしやすさを実感できたという。

プレイングマネージャーとしての挑戦

入社時は契約社員として働いていたが、約1年半後には正社員に登用された。その後もさまざまなプロジェクトに携わり、成果を上げていく。約1年前からは、部長職を任されるようになった。現在は、プレイングマネージャーとして現場での作業を行いながら、マネジメント業務にも取り組んでいる。プレーヤーとして行う業務が全体の6割ほどあり、管理職としての任務に集中できていないのが現在の課題だという。

プレーヤーとしては、モバイルコアネットワークの構築をメインで担当している。モバイルコアネットワークは、通信事業者がもつネットワークの中でも中核を担う部分であり、スマートフォンやタブレット端末など、さまざまな通信機器に接続されるものだ。ベンダーとも協力しながら、装置の構築や検証、エンドユーザーへのサービスインなどの作業を実施している。

励みとなったお客様からの言葉

転機となったのは、入社してすぐにネットワーク監視業務のプロジェクトの立ち上げを任されたことだ。前職時代に同種のプロジェクトに参画した経験があり、入社間もない契約社員という立場でありながら、チームリーダーとしてメンバーを牽引することとなった。

このプロジェクトはゼロからの新規立ち上げ案件だったため、監視ルームに機器がない状態からスタートした。運用方法の検討や立案、機器の設定など細かいミッションを一つひとつ乗り越えていかなければならない。特に苦労した点は作業量の多さだ。プロジェクトのメンバーは約10名いたが、監視業務はIT業界未経験といった人員が配

置られる場合が多い。そのため、松木は人材教育をしながらタスクの進捗管理や課題解決などにも取り組んでいった。また、お客様から求められるサービスのレベルが高く、何度も困難に直面したという。

「お客様のご要望にお応えするのは大変でしたが、密に連携をとりながら、一つひとつ課題を解決していきました。無事に終わったときには、お客様から『これからも頼りにしています』と声をかけていただき、とても嬉しく思いましたね」。

このときの働きは社内でも評価され、次のプロジェクトに異動する際に、正社員に登用されたのだった。

今後の目標について

今後の目標は、デルタ総研をさらに成長させることだ。そのためには、人員を増やしつつ、管理職として働けるスキルをもった人材を育てていく必要があると考えている。さらに、現在主軸となっているモバイルコアネットワーク以外にも幅を広げ、多くのお客様のニーズに応えられる体制を整えていきたいと思っている。

「お客様との信頼関係を大切にしながら、業務を遂行していきたい」と語った松木。次なる目標達成を目指し、これからも走り続けていく。



ネットワーク 基盤技術部 大特集! ✨

今回はネットワーク基盤技術部を大特集! 部長の豊村さんが講師を務めている「柱プロジェクト」、そして部署の1日に密着しました。ネットワークは楽しいものだと言っている豊村さん。業務や講義を通して、楽しさを広めようと日々尽力されています!



ネットワーク基盤技術部
とよ むら たかし
部長 豊村 崇さん

柱プロジェクト ネットワーク柱に 密着! ✨



そもそも柱プロジェクトとは……?

目的はネットワークに関する 知識の底上げ

希望者を対象に、ネットワークに関する簡単な問題を問きながら基礎から学んでいく取り組みです。学習期間は1年間で、2か月に一度、実機がある川崎の研修センターで開催しています。

力を入れている部分

初心者であってもわかりやすく、 楽しく学べるように

1つはわかりやすさ。基礎的な問題を用意し、コンフィグを作成したり、物理作業を実施したりと、実践を交えながら学べるようにしています。また、問題については市販のものではなく、オリジナルで作成しています。

もう1つは楽しさを伝えること。実は私自身、元々ネットワーク関連に対しては苦手意識がありました。しかし基礎的な部分を学んでみると、業務でもより深いところに携わることができ、次第に楽しく感じてきたのです。こういった感覚を、講義を通して伝えていきたいと考えています。



進捗

基礎は定着したものの、 課題だと感じる部分も……

参加してくださった皆さんは、この1年で基礎的な知識がしっかり身についたように思います。コンフィグの設定やネットワークの通信確認なども、1人でできるようになりました。ただ、それらはまだ初歩的な段階であり、楽しさを感じていただくまでには至っていません。この先もご自身で勉強を続けたり、業務に活かしたりすることで、少しでも楽しく感じていただけたら幸いです。また、わかりやすさについても、まだ改善の余地があると感じています。問題づくりも試行錯誤していきます。

受講者へのメッセージ

ネットワーク関連は難しいと思われがちですが、基礎的な部分の難易度はそれほど高くありません。今まで敬遠されていた方も、ぜひこの機会に学習していただき、知識と経験を深めていただければと思います。

ネットワーク基盤技術部の1日に密着!

1日の仕事の流れ

🕒 9:00

出勤

出勤後は、まず前日の検証結果を確認。その後、当日に行う検証内容や進捗について、チームメンバーと意識合わせをします。

🕒 12:00

お昼休憩

🕒 10:00

検証作業開始

ここからは各個人で、担当しているパートの検証を行っていきます。

🕒 13:00

検証作業の続き

🕒 14:00

定例業務

お客様に対し、実施している検証の内容や結果、検証件数などを報告します。

🕒 15:00

今後のスケジュールリングと作業の割り振り

これから実施していく検証作業の内容やスケジュールを確認。各担当者に業務を割り振ったり、各作業に対するミーティングを行ったりします。

🕒 16:00

チームミーティング

1日検証した結果を報告してもらいつつ、内容が合っているかどうかの確認をします。また、翌日の検証や、その他の作業進捗についての確認も併せて行います。

🕒 18:00

退勤



仕事のやりがい

生活に必要不可欠な

ITインフラを支えていること

私たちの仕事はインターネットやモバイル通信など、世の中になくてはならないネットワークを影から支えることです。重要なインフラの安定化を担っていること自体が、大きなやりがいとなっています。もっと手近なところだと、やはり検証環境において、ネットワーク機器がしっかり動いてくれたときでしょうか。当然うまくいかないこともあるのですが、自分の知識や経験で問題を解決できたときは喜びもひとしおです。

ネットワーク基盤技術部に 向いている人材

自ら貪欲に学び、 問題解決に向けて動ける人

大前提は、ネットワークに対して興味や知識があること。それに加え、問題を自分で解決する意識があることが重要です。知らない知識や新しい技術に対して敬遠してしまう方は、向いていないかもしれません。また、検証作業自体は1人で行うことが多いものの、私たちはチームで動いています。そのため、コミュニケーション力も必要となってきます。

求職者の方へメッセージ

1からじっくり 学んでいける職場です!

基礎的なことはもちろん、ネットワークに関するさまざまな応用知識・技術を、実践的に身につけられる職場です。中には難解な部分もありますが、1からサポートする体制が整っています。雰囲気も和気あいあいとしており、楽しみながら学んでいけるはず。IT業界への就職を考えている方は、ぜひ当社をご検討ください!